

平成 24 年度第 5 回（8 月）理事会議事録

- ◇ 日 時： 平成 24 年 8 月 9 日（木）午後 19 時 00 分～20 時 00 分
- ◇ 会 場： 社団法人 大阪府臨床検査技師会事務所
- ◇ 出席者： 運天、吉本、竹浦、高田、荒木、田畑、宮野、栗本、清水、増田、山西、杉山、山田、
久保田、後藤、栗本監事、事務（出口）
- ◇ 欠席者： 出野、井戸田、酒井、山中幹事
- ◇ 議 長： 運天

【 討議内容 】

I. 行動報告（7 月分）

別紙参照

II. 経過報告

1. 日臨技

- ・ 7 月 16 日（月）近臨技と日臨技関西支部の合同会議を開催した。

- ①学術部研究班を設置する。
- ②支部学会については、合同開催は反対だが同時開催は OK。
- ③近畿支部への名称変更は OK。

2. 近臨技

- ・ 7 月 16 日（月）日臨技関西支部と近臨技の合同会議を開催した。

- ①バーコードリーダー、PC 端末の不足分を日臨技に要望する。
- ②関西支部開催事業に近臨技は協賛する。
- ③関西支部研修会の運営方針は前年度までの近臨技手順（担当順番、申請次期等）を踏襲し、日臨技手順書に合わせる。
- ④一般、血液、臨床化学、微生物、チーム医療 3 つは関西支部で開催する。

3. 事務局

〈総務部〉7 月 18 日（水）に部会を開催した。

- ・ Web 版大臨技会報の作成について検討した。
- ・ 公益法人向け大臨技ホームページへの更新について検討した。
- ・ 研修会等での受付対応について検討した。
- ・ 各部の業務について検討した。
- ・ 大臨技ニュース 7 月号を発行した。
- ・ 大臨技ホームページを更新した。

〈会計部〉7 月 18 日（水）に部会を開催した。

- ・ 6 月度収支決算書を作成した。
- ・ 7 月分事務員給料を送金した。

〈渉外部〉7 月 17 日（火）に部会を開催した。

- ・ 第 38 回献血推進活動（8 月 25 日開催）について検討した。
- ・ 第 2 回大臨技・大放技合同フォーラム委員会の報告を行った。
- ・ 府民健康フォーラム（10 月 28 日開催）の進捗状況について説明を行った。
- ・ がん検診推進フォーラム（日臨技公益委託事業）について説明を行った。

4. 事業局

〈情報組織部〉7 月 19 日（木）に部会を開催した。

- ・ 新入会員研修会について役割分担を決定した。
- ・ 多職種合同チーム医療研修会について内容の最終決定を行った。

〈地区事業部〉7月15日（日）に部会を開催した。

- ・ マタニティーカーニバル2012（平成24年7月7日（土）～7月8日（日）、大阪南港ATCホールにて開催）の反省会を行った。

〈学術部〉7月10日（火）に部会を開催した。

- ・ 第7回学術部講演会について検討した。
- ・ 世話人の参加費について検討した。
- ・ 後援と共催の違いについて検討した。

III. 他、報告

1. 近臨技と日臨技関西支部合同会議について（清水理事）

- ・ 日臨技関西支部主催の研修会において、日臨技会員でない関西支部会員の参加費差額分について

ては、近臨技が協賛し負担することが承認された。

- ・ 日臨技関西支部研修会における日臨技生涯教育履修登録は、日臨技会員証からバーコードリーダーおよびPC端末使用により登録することとなった。

大臨技のバーコードリーダーおよびPC端末不足分14組を日臨技に要望することとした。

2. 救急認定技師認定機構について（運天会長）

- ・ 大臨技から日臨技理事会に緊急検査技師認定の対応について議題に上げてもらう。そのために「日本救急検査技師認定機構」から資料を提出してもらい、日臨技認定センター経由で9月の日臨技理事会に提議する予定である。

3. 公益法人申請の進捗状況について（運天会長）

- ・ 順調に進めている。

4. Web版大臨技会報について（吉本副会長）

- ・ 総務・会計部でWeb版大臨技会報の作成を進めているが、各部における掲載用原稿作成の協力要請があった。

5. ホームページのリニューアルについて（吉本副会長）

- ・ 大臨技ホームページのトップページから各府民公開講座・公益事業および各他職種公開講座についての詳細が見られるようにした。
- ・ 大臨技ホームページのトップページにリンク集ボタンを配置した。
- ・ 大阪府薬剤師会および大阪府栄養士会に対し正式に相互リンクの依頼をしたところ、大阪府薬剤師会より了承を得たため対応した。

6. その他

（清水理事より）

- ・ 免疫血清検査部門担当の府民公開講座（テーマ：乳がん、10月27日開催）の広報を、新聞社等を通して行う予定である。
- ・ がん予防検診フォーラム（10月13日開催）について、
 - ①大阪対がん協会ホームページでの広報を予定している。
 - ②講師の1名が、大阪がん循環器病予防センターの田路氏に決定した。
- ・ 平成24年度第1回献血推進活動（8月25日開催）への協力要請を行った。
- ・ 来年2月の献血推進活動に向けて学術部（輸血検査部門）との協議を予定している。

（竹浦副会長より）

- ・ データ標準化の進捗について報告があった。

①8月19日（日）CBCのみについてプレサードイの準備をする。

②篠原氏作成プール血清を150セット購入した。

IV. 議 題

1. 日臨技連盟と職域拡大について（運天会長）

- ・日臨技は宮島会長体制になってから、職域拡大に力を入れている。
- ・チーム医療を推進するとともに、国に対し、検体採取、血圧測定、嗅覚検査、電気味覚検査も臨床検査技師の仕事として追加して欲しいとの要望を出す。
- ・臨床検査技師が検査の説明・相談を出来るように育成する事業を平成25年～27年の間に推進して行きたい。そのための事業費の半分を国に出してもらおうよう要望する。
- ・職域拡大するための手段として日臨技連盟の強化は必須であるため、加入者を増やす必要がある。
- ・大臨技として、加入者の増加促進のため、ホームページや大臨技ニュースで広報して行くこととした。

2. 事業運用マニュアルについて（荒木理事）

- ・前回理事会で提出された「事業運用マニュアル」の改訂版について審議し承認された。当改訂版を大臨技ホームページの会員専用ページにアップすることとした。

3. 配布資料について（田畑常務理事）

研修会において実際の参加者数が把握できないため、準備した配布資料に過不足が生じることがある。そのための対策を検討し、以下の意見があった。

- ①講師の了承があれば、研修会終了後期限付きで大臨技ホームページにPDF化した配布資料をアップする。
- ②会場により決まる定員数までは配布資料を準備するが、定員数以上は準備しない旨をあらかじめ広報しておく。
- ③作成に時間がかかる配布資料が必要な研修会については、事前申込制にしてする。
- ④配布資料が足りなくなり配布出来なかった非会員の参加者に対しては、資料代は徴収しない。

4. その他

- ・井戸田理事を通じ、情報組織部チーム医療部門糖尿病療養指導部会担当の、第22回糖尿病療養指導士講演会（平成25年2月10日開催）について、サノフィ・アベンティス(株)と共催開催の申請があり、承認された。
- ・日臨技の会員のみ参加可能なセミナー等について大臨技ニュース等で広報する場合は、大臨技のみの会員は参加不可であることを広報する必要があるため、そのための対策を総務部で検討することとした。

以上

理事会議事録確認（署名）
